

海田東小学校校舎建替に関する第2回保護者説明会 議事要旨

日 時：令和6年7月4日（木）19：00～19：35

場 所：海田東公民館 大会議室

出席者数：9名

事務局：海田町教育委員会事務局職員、海田東小学校長

議事要旨

（以下 ○：出席者からの発言，●：事務局の発言）

1 教育長挨拶

- この度の校舎の建替えについては、老朽化対策及び安全対策、教育環境の質の向上を目的としている。本事業については、保護者の皆様と情報を共有した後、御理解をいただきながら進めていきたいと考えている。現在の進捗状況及び今後の計画も踏まえて説明を行うので、ぜひ御意見をいただきたい。

1 基本構想策定に係るこれまでの検討状況

- 令和6年1月に、海田中学校区学校運営協議会内に設置した海田東小学校校舎建替検討部会の1回目の会議で、基本構想骨子案を説明し、2月に教職員の説明会や、保護者の皆様と教職員向けに海田東小学校の建替えに関するアンケート調査を実施した。4月には、1回目の保護者説明会を開催し、基本構想骨子案に加え、2月に実施したアンケート調査の結果について報告を行った。その後、検討部会や保護者説明会でいただいた御意見、アンケート調査の結果等を踏まえ、素案を作成した。今後の予定も含めたスケジュールについては、本日、素案について説明をした後、基本構想最終案をとりまとめ、7月から9月にかけて第3回検討部会や保護者の皆様にご説明した上で、基本構想を策定する予定となっている。

2 海田東小学校校舎建替に係る整備方針（案）について

- 当初、本館のみ建て替えるということで検討を進めていたが、検討部会や保護者説明会での御意見、保護者・教職員向けアンケート調査の結果等を踏まえ、建替対象施設や、建替えに係る業務の発注方法について整理した。まず、建替対象施設については、当初予定していた本館に加えて、新館・給食室を一体的に建て替えることとした。なお、給食室については、将来的に町立中学校の給食についても集中的に調理し、提供することを見据えた規模の整備をしていく予定となっている。また、児童クラブを利用する児童の安全確保・利便性向上の観点から、町民センター内にある児童クラブを建替後の校舎に移設する方向で整備を進めていきたいと考えている。

次に、建替えに係る業務の発注方法については、事業期間の短縮を目指して、基本計画、基本設計及び実施設計業務を一括発注することにより、各業務発注に係る期間をできるかぎり省くことで、事業期間の短縮を目指していきたいと考えている。

なお、建替えのスケジュールについては、本館のみの建替えを検討していた段階から変わらず、令和11年4月からの供用開始を目指すこととする。

2 海田東小学校校舎建替に係る基本構想（素案）について

- 「1 海田町立学校の校舎建替の基本理念」については、海田東小学校、海田小学校の校舎建替を進めていくにあたり、町としての基本的な考え方を根底に据えて、取り組めるよう基本理念を整理した。

基本理念は、「つくる」、「つづく」、「つながる」の3つをキーワードとして整理した。

「10 学校職員、保護者等からの校舎建替に係る意見」については、基本構想策定の参考とするために、2月に実施したアンケート調査の結果や、学校関係者からのヒアリング、保護者説明会での質疑を通じていただいた御意見などをまとめている。

アンケートの回収率については、保護者が89%、教職員が100%であり、多くの皆様に御回答いただいた。御協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

「11 児童からの校舎建替に係る意見」については、令和6年3月に町長が海田東小学校を訪問し、児童代表とランチミーティングを通じて、新校舎に盛り込みたい機能や設備等について意見交換を行った際に、児童たちから出たアイデアなどをまとめている。

例えば、「教室の床は、掃除しやすい仕様にするほか、各教室前に手洗い場を設置する」といった意見をはじめ、子供たちが日々の学校生活を通じた使用感を踏まえた意見をたくさんいただいております。こうした意見も素案に反映させていただいた。

「12 海田東小学校校舎建替に係る整備コンセプト・整備方針」については、海田東小学校の校舎建替に当たっては、先ほど示した海田町立学校の校舎建替の基本理念をベースとしつつ、海田東小学校の強み・特長や、海田東地区の将来像をコンセプトに据えて、特色・魅力ある学び舎づくりを進めていきたいと考えている。

こうした考え方のもと、基本理念の3つのキーワード「つくる、つづく、つながる」と海田東小学校の整備コンセプトから「学校の強み・特長」である「学校規模を生かした活力ある教育活動、様々な文化に自ずと触れ合える環境、そして、海田東地区の将来像」を組み合わせて、整備方針を整理した。

整備方針①「活力ある教育活動と温かな居場所が交わる学び舎づくり」、整備方針②「伝統と多彩な文化が息づく学び舎づくり」、整備方針③「地域とともに未来を築く学び舎づくり」の三つの整備方針のもと、各方針に基づき落とし込んだ施設整備の方向性を体系的に整理し、9の中項目と18の小項目にまとめた。

例えば、整備方針①「活力ある教育活動と温かな居場所が交わる学び舎づくり」では、「同学年・異学年交流を促進する空間づくり」や「居心地の良い快適な空間づくり」等に整理した。

整備方針②「伝統と多彩な文化が息づく学び舎づくり」では、「言語的コミュニケーションに頼らない学校施設の整備」や「伝統を継承する空間づくり」等に整理した。

整備方針③「地域とともに未来を築く学び舎づくり」では、「学校と地域が支え合い協働していくための空間づくり」や「災害に備えた学校施設の整備」のように、各方針に沿って体系的に項目を整理した。

また、これらの項目の中で、特に注力する三つの項目を重点項目として位置付けている。

重点項目の一つ目については、整備方針①「活力ある教育活動と温かな居場所が交わる学び舎づくり」の「同学年・異学年交流を促進する空間づくり」に連なる項目「学びの中心となる学校図書館の整備」を挙げている。

ここでは、学校図書館を学びの拠点に位置付け、全学年の児童がアクセスしやすい場所に配置し、学年を超えて、様々な児童が集い、学び合う交流の場としたり、児童クラブ利用児童が、学校図書館でも読書を楽しみ、自習したりすることができるよう、児童クラブからアクセスしやすい場所に整備したいと考えている。

例えば、学校図書館を上下で2フロア確保し、館内の内階段で移動を可能にすることで異学年による交流を促進するといったことを検討している。

また、学校図書館にカーペットやソファを配置して、リラックスしながら読書を楽しめるスペースを整備することを想定している。

重点項目の二つ目については、整備方針①の「居心地の良い快適な空間づくり」に連なる項目「快適で温かみのある空間の整備」を挙げている。

学校は児童にとって、学習の場であるとともに、日常的に過ごす生活の場でもあることから、安全・安心に配慮しつつ、児童がゆっくり落ち着いて過ごすことができる、快適で温かみのある居心地の良い空間を整備したいと考えている。

また、児童のリフレッシュの場として、適宜休憩をとることができるスペースや、雨天時でも室内で遊びを楽しむことができるレクリエーションスペースなど、児童一人ひとりが過ごし方を選べる多様な居場所を整備したいと考えている。

「快適で温かみのある空間の整備」として、例えば、廊下に休憩スペースとして木製の机や椅子を設置して、子供同士で会話を楽しんだり、廊下にブックラウンジを設置して、気軽に読書を楽しめるスペースを整備する。

重点項目の三つ目については、整備方針②「伝統と多彩な文化が息づく学び舎づくり」の「言語的コミュニケーションに頼らない学校施設の整備」に連なる項目「誰もが直感的にわかりやすいアプローチ計画・サイン計画」を挙げている。イメージ例にあるように、児童だけではなく、外国人をはじめとする地域住民も含めて、利用者にとって誰もがスムーズに目的地とそこに至るまでの動線がわかるように、施設全体をデザインするとともに、校内の案内表示にはピクトグラムを取り入れるなど、誰もが直感的にわかりやすいサイン計画としたいと考えている。

3 質疑・応答

- 今回の説明会に参加することで、新館・給食室も一体的に整備されることなどを知られてよかった。

夏の気温が高い日については、昼休憩に外で遊べない状況も生じている。体育館のような広く運動できるスペースが休み時間に解放されると子供たちにとっても良いのではないか。

建替えに関する情報がより多くの保護者に伝わり、より多くの意見が集まることで、よりよいものになると思うので、次回以降の説明会の開催日時・方法については再度検討してほしい。

- 事務局においても、少しでも多くの保護者の方に伝えたいという思いをもっている。今回の保護者説明会の内容については後日ホームページに公開するとともに、第3回保護者説明会では開催する時間帯、曜日等についても再度検討する。
- 今のスケジュールでは、1年生が完成時には6年生になってしまうので、幼稚園や保育所に通うこれから海田東小学校へ通う子供の保護者に向けた説明会も行ってみてはどうか。
- 今後、海田東小学校へ通う子供の保護者に向けた情報発信の方法についても、検討してまいりたい。

- 今後については、本日いただいた御意見等を踏まえ基本構想最終案をまとめ、8月下旬にホームページに掲載する予定である。掲載する際には、学校を通じて保護者の皆様にもお知らせさせていただく。